

市町村名	高梁市															
移住相談窓口	移住専門相談員の有無	県の移住相談会への参加			市町村独自の移住相談会		市町村主催の体験ツアー		移住・定住支援制度						空き家情報	
		東京10月	大阪7月	大阪2月	日程	会場	日程	行程	お試し暮らし等	起業	就農	住宅	子育て	その他	空き家提供	うち空き家情報システム利用
住もうよ高梁推進課	○	○	○	○	未定	未定	随時	随時	○	○	○	○	○	○	○	

1 移住相談窓口

担当部課	担当者名	連絡先
住もうよ高梁推進課	高橋 雄二	0866-21-0282

2 移住専門相談員の有無

有 ・ 無

名称	氏名	連絡先
移住コンシェルジュ	山縣 麻理子	080-4614-0285
主な業務	①移住相談・現地案内 ②情報発信業務 ③移住フォローアップ業務	

3 お試し住宅の有無

有 ・ 無

整備年度	活用施設	利用単位	R4年度利用件数	うち移住件数
H21 H21 H24 R2	2K:2戸 3K:2戸 4K:1戸 3DK:2戸	概ね1か月～1年	4世帯	3世帯(5人)

4 市町村主催の体験ツアー

【ツアーの概要】
空き家見学ツアー(実施時期未定)

5 移住・定住支援制度

区分	名称	目的・対象者・要件等	助成内容等
お試し暮らし等	お試し住宅	・本市で農業に就業することを目指して、市内で実務研修を行う者 ・自身の農業への適性を計るため、市内で短期研修を行う者 ・田舎暮らしを志向する者で、本市の農業や生活文化等に触れるため、宿泊を必要とする者	【使用料】 2K:月7千円 4K:月1万円 3K:月9千円 3DK:月9千円
	お試し暮らし	県外在住者で高梁市への移住を検討し、生活を体験してみたい方 ①市内の宿泊施設を利用した場合 ②市内の業者のレンタカーを利用して市内を視察した場合	①1人当たり1泊の宿泊料金から、2千円を差し引いた額で上限4千円/泊(4泊/年度を限度とする)※ただし、1世帯2名分まで ②レンタカー料金:上限2千円/日(4日/年度を限度とする)
起業	新製品開発等支援	地域資源を活用した新製品やパッケージデザインの開発費用を助成する	※補助率1/2(上限30~50万円)
	地域商業の活性化支援	・市内で新規開業や新規分野に参入する人に対し、対象となる店舗等を改修する経費を助成する ・市内で3年以上営業している店舗等をリニューアルするための補助金を交付する ・移動販売を行うために車両を取得又は改造する経費を助成する ・市内事業者の事業承継を行い、新しい取り組みに対して補助金を交付する	補助率1/2(上限50万円)
就農	新規就農者向け農業スクール	栽培技術習得のための通年での講習会を開催している(トマト・ピーマン・モモ・アスパラガスの4コースを計画)	
	農業実務研修	国・岡山県の制度に沿った2年以内の就農研修制度	年額150万円の研修費の支給がある(対象要件有)
	農業次世代人材投資事業	経営の不安定な就農直後の所得を確保する給付金を最長3年間給付する	(年間最大150万円)を最長3年間給付する(就農時の年齢が50歳未満等の要件有)
	就農激励金	高梁市に定住し新規に就農する者に対し、就農激励金を支給する。	上限75,000円(居住や年齢等で要件有)
住宅	空き家情報バンク制度	市内の空き家を有効活用するため台帳に登録し、空き家情報を提供している	
	空き家情報バンク活用促進助成金(空き家再生助成事業)	空き家情報バンク登録物件を対象に、空き家の購入、家財処分、改修に要する経費の一部を補助する	※購入:補助率1/10(上限50万円) ・家財処分:補助率2/3(上限20万円) ※改修:補助率1/3(上限70万円) ※要件により加算有り
	定住促進住宅整備事業	市外からの移住・定住を図るため、入居者の意向を反映したオーダーメイド型の賃貸住宅を建設する	

	住宅の新築・取得に対して助成金を交付する	・住宅の新築:用地購入代金の1/10(上限100万円)+新築(上限50万円)+要件により加算有り ・中古住宅又は建売住宅の取得:購入代金の1/10(上限50万円)+要件により加算有り
	住宅リフォーム補助金	住宅をリフォームする方に対して工事費の一部を補助する ・補助率1/10(上限30万円)
	子育て世帯引越し助成事業	子育て世帯の転入促進を図るため、県外から転入する子育て世帯に引越し費用の助成を行う 補助率2/3(上限10万円)
	子育て世帯向け賃貸住宅建設促進助成金	定住人口の拡大と地域経済の活性化を図るため、市内において世帯向け賃貸住宅を建設する民間業者に対し、建設費用の一部を助成する。 交付限度額:100万円/戸(市外業者は70万円/戸)又は50万円/戸(市外業者は35万円/戸)
子育て	子ども医療費	子ども医療費を無料化 18歳までの保険診療自己負担分を全額市が負担
	妊活サポート助成金	保険適用開始後の不妊治療【体外受精・顕微授精】に対する新たな助成あり
	出産応援ギフト	妊婦さん1人につき50,000円
	産科初回医療助成	妊婦さんの経済的負担の軽減を目的として、妊娠が確定し、妊婦健診無料券をもらうまでの自由診療にかかった費用を助成する
	風しん予防接種費用助成事業	妊娠を希望される女性とその配偶者、妊娠中の女性の配偶者に対し、風疹抗体価が低い場合、事後申請により予防接種費用の助成が受けられる ・風しんワクチン5,000円 ・麻しん風しん混合(MR)ワクチン7,000円 ※いずれも助成上限額
	産前産後ヘルパー	身の回り、家事、育児が困難な家庭に、母子手帳交付後から出産後1年まで産前産後ヘルパーを派遣する 500円/1時間(8:30~17:00 1回4時間以内)20回まで
	ママ・サポート119(妊婦事前登録制度)	妊婦さんの希望により、出産予定日、出産予定医療機関等の情報を高梁市消防へ事前に登録して、緊急時に救急車を利用する際の119番通報や医療機関への連絡・搬送をスムーズに行う
	病後児保育	保護者の就労等により、家庭での保育が困難な病後の児童を一時的に保育する ※病児保育・・・岡山県病児保育広域相互利用に基づき該当施設を利用できる 1人一日当たり2,000円(申請により生活保護世帯は無料、市民税非課税世帯は千円で利用できる)
	産後ママ安心ケア事業	産後の母子が一定期間、医療機関や助産院の助産師等から、産婦の乳房ケアなどの健康管理や授乳・沐浴など育児の保健指導や相談を受けられる ①宿泊型ケア:産後12ヶ月以内の母子が、宿泊してサービスを受ける。(通算7日以内) ②日帰り型ケア:産後12ヶ月以内の母子が、日帰りでサービスを受ける。(通算7日以内) ③母乳育児相談:産後12ヶ月以内の母子が、1時間程度のサービスを受ける。(通算4回以内)
	産婦健康診査	おおむね産後2週間および産後1か月の産婦を対象に、健康診査にかかる費用を助成する
	子育て応援ギフト	お子さん1人につき50,000円
	子育て応援チケット	市の子育て支援サービス6事業を1回分無料(一部自己負担有り)で利用できる
	乳児全戸訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)	保健師が生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供につなげる
	ファミリーサポート事業	子どもの一時的な預かり援助などを希望する人と援助を行うことを希望する人との相互援助活動を行う
	病後児保育	保護者の就労等により、家庭での保育が困難な病後の児童を一時的に保育する ※病児保育・・・岡山県病児保育広域相互利用に基づき該当施設を利用できる 1人一日当たり2,000円(申請により生活保護世帯は無料、市民税非課税世帯は千円で利用できる)
	一時預かり事業(一般型)	家庭での保育が困難となった場合に、一時的に保育士や保育補助員等が子どもを預かる。
	定期予防接種費用助成事業	里帰りなどで県外へ滞在する際に予防接種を行う場合、事前・事後申請を行うことで、予防接種費用の助成が受けられる。(高梁医師会との契約額が上限)
	延長保育	すべての保育園・こども園で、延長保育を行っている
	預かり保育・学童保育	幼稚園・こども園での預かり保育の実施、全ての小学校区で学童保育を実施している
	おむつ支援	保育園・こども園で使用する紙おむつとおしりふきの支援を行っている
	遠距離通学支援	小・中学生の遠距離通学に対しスクールバスの運行やバス代補助等を実施している
	高校生バス通学支援	高校生がバスで通学する際に必要な通学定期券購入費の半額を助成する
その他	移住支援金	高梁市への移住を促進し、市内中小企業等の人手不足を解消するため、東京圏から高梁市に移住し、岡山県が開設するマッチングサイトに移住支援金の対象として掲載する企業に就業した方、又は岡山県の起業支援金の交付決定を受けた方を対象に移住支援金を交付 ・2人以上の世帯の場合 100万円 (※18歳未満の者一人につき100万円が加算) ・単身の場合 60万円
	給食提供	市内全ての幼稚園・保育園・こども園で、給食の提供を行っている 給食のアレルギー対応を実施(入園前等事前申請要。アレルギー源の除去のみ、代替食無し)
	給食提供(小・中学校)	市内全ての小学校・中学校で、給食の提供を行っている。 給食のアレルギー対応を実施(入学前等事前申請要。アレルギー源の除去のみ、代替食無し)